

書写指導員派遣事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H19 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 書写指導員派遣候補者リスト登録者の高齢化に伴う減少						[問題・課題を表す客観的データ] 派遣リスト登録者 R2年度81名、R3年度71名 (内訳: 60代28名、70代14名、80代1名)						
[事業目的] 書道団体と連携して、書写指導員を学校に派遣し、児童・生徒の書写技能と教員の指導技術の向上を図る。												
[事業内容] 書写教育の推進 (1) 書写指導員の派遣 74校 309学級 1,232時間 44名を派遣 候補者リスト登録 71名 (2) 書写指導員研修の実施 4会場 57名参加予定												
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業 (役割分担) 高校については、「新たな部活動指導体制推進事業」(教職員課)を 活用					
市町との連携状況	・学校から出される申請・報告等のとりまとめを依頼。指導員から出された情報などは市教委に提供。研修会には希望する教員も参加。					他県の状況						

書写指導員派遣事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営								□ 補助金		
補助率	-								□ その他		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,695				2,695						
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			2,695	2,695	2,695						
2月現計予算額の推移			2,695	2,695							
決算額の推移			2,605								
前年度までの主な増減理由											
[成果指標等の推移]											
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標)							児童・生徒の書写技能および教員の指導技術の向上を図るための事業であり、定量的に成果を把握することは困難である。			
	実績										
活動指標	書写(書道)指導員がサポートする学校数	(目標)	(70)	(70)	(70)	(70)	(70)	令和6年度までに350校を目指す。			
		実績	67	74							
[事業の評価]											
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・派遣校67校 338学級 1,237時間 ・書写指導員派遣候補者リスト登録 81名 ・書写研修会 3会場 51名 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過 年数	9 年		
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[I 学びを伸ばす(人材力)]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]				
	政策	[1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県内の文化財の価値付け、保存、活用が十分行われていない						<ul style="list-style-type: none"> ・国重要文化財指定数 福井県114件 石川県134件 富山県50件 ・国重要無形民俗文化財指定数 福井県5件 石川県8件 富山県9件 						
[事業目的]												
県民の財産である文化財を保存し、学校教育や観光への活用を図るため、国指定等に向けた調査を推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○国指定等に向けた民族、古文書、建物等の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・三田村家文書・歴史資料 ・大瀧神社文書・歴史資料 ・戸祝い行事 等 												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 文化財保護審議会 (役割分担) 県指定文化財の指定について審議等を行う					
市町との連携状況	県実施事業も市町と協働して調査を実施するとともに、市町実施事業についても補助して調査を進めていく。					他県の状況						

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,041	2,366				5,675	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		15,469	11,007	7,281	6,647	8,041	・戸祝い行事の最終年度報告書刊行による増					
2月現計予算額の推移		14,893	7,000	4,182	6,077							
決算額の推移		13,297	6,130	2,171								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・H30 調査完了による減額 (H29 橋家文書、柳ヶ瀬トンネル 完了) ・R元 調査完了による減額 (H30 大音家文書、今庄宿町並み保存対策 完了) ・R2 調査完了による減額 (R元 小浜放生祭、三方石観世音堂 完了) ・R3 一部調査廃止による減額 (大滝地区文化財レベルアップ調査 廃止) 											
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	文化財の新規指定件数	(目標) (10) 実績 12	(10) 1	(10) 14	(10) 12	(10)	(10)	(10)	年ごとに実際の新規指定件数に多少の増減はあるが、県指定を年間10件を目安に指定を進めていく。			
活動指標	文化財調査件数	(目標) (27) 実績 46	(27) 28	(27) 27	(27) 27	(27)	(27)	(27)	文化財の調査件数についても、毎年同数を継続して調査していくことが、安定的な指定へとつながるため、同数を維持する。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
重点的に文化財調査に取り組んだことから、新規指定件数、調査件数の目標は達成した。 前年度の概要と成果は以下のとおり。 ・若狭能倉座の神事能、旧京藤甚五郎家住宅調査を国庫補助を得て開始 ・本事業で調査 (H29・30) の今庄宿が令和3年8月に国重要伝統的建造物群保存地区に選定				戸祝い行事の最終年度報告書刊行による増				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	各市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	事業費の1/6											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井県の魅力を発信するうえで、文化財を修理し、活用していただくこと、また崩壊する恐れがある文化財について、緊急的に修理が必要である。						・崩壊の危険があるが修理を先延ばしにしている件数 2件(旧瓜生家住宅・荻野家住宅)						
[事業目的]												
歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力発信する手段として活用する。												
[事業内容]												
重要文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援												
<ul style="list-style-type: none"> ・柴田氏庭園 建造物復元工事、庭園植栽整備工事 ・大安寺 建造物半解体工事(本堂、鐘楼組立) ・西福寺 建造物半解体工事(実施設計書作成) 												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣					
事業主体	各市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	事業費の1/6															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	29,579					29,579										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		31,664	32,499	25,499	19,739	29,579	新規案件増による補助金交付件数の増									
2月現計予算額の推移		30,877	26,316	12,166	19,739											
決算額の推移		30,818	23,229	5,151												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・H30 申請数減少による減額 ・R元 修理工事開始による増額 ・R2 事業費減少による減額 ・R3 補助率調整による減額 															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	緊急修理が必要な文化財 の総数に対する補助件数 割合(%)	(目標) 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)								
活動指標	補助金の交付件数	(目標) 3	(2) 2	(1) 1	(2) 2	(3) 2	(2)	(2)								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
・市町から要望のあった事業については、予定どおり補助金を交付することにより活動目標は達成した。(柴田氏庭園、大安寺)				新規案件増による補助金交付件数の増				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了	-					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

無形民俗文化財再生支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣			
事業主体	民間事業者、団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	委託										経過年数			1 年
補助率	-										事業開始 年度			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存会員の高齢化と後継者不足 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う祭礼・神事等の発表機会や練習機会の減少 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 20～39歳までの保存会員が20%以下の保存数 … 31団体 ・ 60歳以上の保存会員が30%以上を占める保存会数 … 34団体 ※県無形民俗文化財保護協議会55団体へのアンケート 42団体の回答結果から分析 ・ R2祭礼・神事63件中新型コロナによる縮小30件、中止26件/R3.8現在36件中縮小16件、中止16件 								
[事業目的]														
<p>少子高齢化や若い世代の流出による担い手不足、価値観・生活様式の変化等により無形民俗文化財の保存・継承が難しくなっている中、民間の力や外部人材等の介入により廃れ行く民俗文化財の再生を図る。併せて、再生される民俗文化財を活用し、地域のまちづくりや観光振興につなげる。</p>														
[事業内容]														
<p>民間事業者がコーディネーター役となり、若者を中心とした再生隊が企画立案し発表機会を創出するなど、無形民俗文化財の地域のまちづくりや観光資源としての活用を図る。</p> <p>(1) 「再生隊」の募集・結成 (2) 発表機会の創出等の企画・実施 (3) まちづくりや観光資源として活用</p> <p>事業主体…民間事業者、団体等</p> <p>事業実施期間…令和4年度</p> <p>予算要求額…1,359千円 (一般)</p>														
[受益者] 無形民俗文化財保存会						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 無形民俗文化財活動支援事業 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> ・ 無形民俗文化財保存会を資金面で支援する補助事業制度 ・ 福井県無形民俗文化財保護協議会を事業主体とし、申請のあった各保存会に上限200千円を補助する。 							
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生隊と保存会とのミーティングへの出席 ・ 人的および物的支援 ・ まちづくりや観光振興に向けた保存会活動への協力 					他県の状況								

無形民俗文化財再生支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣			
事業主体	民間事業者、団体等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,359					1,359								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						1,359								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	保存会活動への参加人数 (1団体1回の活動あたり)	(目標)				(110)			R3年度の保存会の会員数を100として基準にする。1年間の中で行われた発表等の活動への会員数の1割増(110)の参加者数を旨す。 ※最も参加者数が多かった活動を対象にする。					
		実績												
活動指標	保存会の活動回数 (1団体あたり)	(目標)				(9)			再生隊参加のミーティング3回、計画や準備1日・祭礼1日の計2日 ×3本実施 計1団体9回以上					
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					3 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルスの感染状況により、予定よりも調査実績が下回っている。可能な限り事業終了予定年度（令和6年度）に事業が終了できることを目指し、さらに効率よく調査を実施する必要がある。ただし、今後の感染状況により、事業終了年度の延長を検討する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年10月末現在文化財保存環境状況調査件数： 38件／約500件						
[事業目的] 文化財の計画的な保存・活用に向けて、有形文化財を中心とした、国・県指定文化財の保存環境等の状況調査を実施し、今後の文化財の保存・活用に活かすとともに、調査結果を学校教育等で活用することにより、文化財への愛着、保護意識の醸成に努め、文化財を次世代に継承していくための基盤を整備する。												
[事業内容] ○国・県指定文化財の所在確認等調査 ・所在場所、所有者（管理者）等の確認 ・文化財保存環境状況等の調査 等 ○県指定文化財台帳の更新・デジタル化、国指定文化財台帳データベースの作成 ○リニューアルホームページ「福井の文化財」の運用（令和3年4月稼働済み）												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県文化財保護審議会 (役割分担) 文化財保存環境状況等の調査には、福井県文化財保護審議会委員等の学識経験者とともに実施する。				
市町との連携状況	文化財保存環境状況等の調査には、可能な限り市町の文化財保護主管課職員の同行をお願いし、文化財の現状、調査結果を共有する。					他県の状況						

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	—									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,158				1,158								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				9,412	1,158	1,158							
2月現計予算額の推移				5,334	828								
決算額の推移				4,957									
前年度までの主な増減理由	令和2年度から令和3年度の減は、ホームページリニューアル完了による減。												
[成果指標等の推移]													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	指定文化財台帳の整備件数			(100)	(100)	(100)	(300)	常時整備	調査文化財の件数分を台帳整備（デジタル化）				
活動指標	国・県指定文化財調査件数			(34)	(139)	(139)	(250)	(500)	調査対象文化財の総数約500件を5か年で調査				
				100	100								
				22	30								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
・令和3年4月より、リニューアルホームページ「福井の文化財」公開。 ・令和3年度保存環境状況調査実績：30件 →新型コロナウイルスの感染状況の影響を受け、現地に赴く必要のある文化財保存環境状況調査が実施できなかった。				現地調査においては、更なる効率化を図りつつ、事業年度の延長を想定する必要がある。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	社会教育関係団体				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	2 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[I 学びを伸ばす(人材力)]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] ライフスタイルの変化等により地域のつながりに対する意識が希薄化し、社会教育関係団体は、会員数の減少など団体が衰退。それにより、生活における相互扶助や伝統文化の維持、地域課題の解決等の地域の社会教育機能が低下。団体活動活性化に向けて、地域住民が参加したくなるような魅力的な教育プログラムの開発や活動の周知が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] H21の団体毎の会員数を 100 とする。 R元の " の会員数 57.3 R2の " の会員数 53.6 ※団体毎の会員数をH21と比較した割合の平均値						
[事業目的] 県域で活動する社会教育関係団体(以下、「団体」という。)が公民館等と連携して、子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民にSDGs達成に向けた多様な教育の提供を支援し、団体活動が活性化することにより、地域の社会教育を促進する。												
[事業内容] (1) 社会教育関係団体がSDGsの達成にむけた活動プログラムを作成 (2) 社会教育関係団体の活動プログラムをリスト化し、市町・公民館等に事業を周知 (3) 県は、公民館等と社会教育関係団体が連携して行った場合、参加人数に応じて活動支援費を社会教育関係団体に支給 (4) 団体、市町担当者、公民館関係職員(社会教育士を含む)等による「団体活動報告会・情報交換会」を開催(年度末) <活動支援費(活動費の1/2)> 参加者(人) 活動支援費(千円) ① 1~19 60□ ② 20~39 75□ ③ 40~ 90□												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・市町に事業の周知、協力を依頼 ・団体、市町担当者および公民館関係職員(社会教育士を含む)等で、情報交換会を実施				他県の状況						

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	社会教育関係団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,592					3,592						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				3,946	3,592	事業実績による申請見込の減						
2月現計予算額の推移				2,564								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	団体会員数	(目標)			(52)	(51)	(51)	(50)	地域の社会教育機能の促進を団体会員数で測る。 10年前の団体の会員数を100とするとR5の会員数は40.1Pと予測されるが、本事業により、予測より9.6P増加する。			
		実績	57	53								
活動指標	活動数	(目標)			(50)	(50)	(50)	(50)	団体が希望した公民館等と連携して教育活動を行った数			
		実績			12							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和3年度実績 活動数：12件 →感染拡大防止による団体活動の自粛等により、目標数に達しなかった (活動例) ・LGBTQの理解を深める講演会 ・海洋プラスチックごみ削減の啓発活動 等				活動事例の情報共有や、地域と団体の交流促進により、団体活動の一層の推進につなげていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	354	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[第3次福井県子どもの読書活動推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
自主的に読書を楽しむ児童の割合が低い						ふだん読書をしない小・中・高校生の割合 小学校：23.6% (R3)、中学校：36.5% (R3)、高校：45.8% (R2)						
[事業目的]												
子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりのために、家庭、地域、学校において子どもの読書活動を推進する。												
[事業内容]												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○福井県子どもの読書活動推進会議の開催 ○同年代に読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を養成 ○幼稚園教諭、保育士向けの研修会を開催 ○成長段階に応じ選定した推奨図書の普及啓発 等 </div> <div style="width: 48%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○産科のある病院と連携し、絵本講座を開催 ○教職員や子ども読書ボランティア向けの研修会を開催 </div> </div>												
[受益者] 0歳～高校生						[想定される受益者数] 約13万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町教育委員会と協力して推奨図書の選定を実施					他県の状況	・国は平成30年4月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。					

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,759				3,759							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		694	792	3,077	4,475	3,759	・ 推奨図書を紹介した普及啓発用小冊子の製作費の減 ・ ライブラリーステイ（図書館に泊まって災害を学ぶ）事業を休止					
2月現計予算額の推移		694	792	3,077	4,475							
決算額の推移		684	666	2,154								
前年度までの 主な増減理由	H30 例年の事業予算に、福井県文学特別顧問による講演会等開催のため予算増加 H31 例年の事業予算に、第3次福井県子どもの読書活動推進計画の策定のために予算増加 R2 第3次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う新事業実施のため予算増加											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	講座等の参加者数	(目標)	(200)	279	(325)	(325)	(325)	(325)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする			
		実績	279	229	272							
活動指標	講座等の開催回数	(目標)	(10)	(10)	(28)	(28)	(28)	(28)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする			
		実績	14	11	17							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
講座の実施を計画したが、コロナ禍のため見送らざるを得なかったため、成果指標、活動目標ともに達成できなかった。				コロナ禍のため、すべての講座を対面型で開催することは困難であるが、出産を控えた夫婦を対象とした「産科のある病院と連携した絵本講座」の一部の回をオンラインで開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	716	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 県内の白川静漢字教育賞への応募者数の減少						[問題・課題を表す客観的データ] 「一般の部」応募数 第1回62点、第2回64点、第2回69点、第4回72点、第5回69点、第6回66点、第7回38点、第8回16点						
[事業目的] 白川静博士が平成16年度に文化勲章を受章されたことを機に平成17年度より推進してきた本事業は、令和3年度で17年を迎えた。これまでは学校教育を中心に推進を図ってきたが、今後は、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供する。												
[事業内容] 白川文字学普及事業 ①「白川文字学ゼミ」の開催 ②「白川文字学こども漢字教室」の開催(親子書道教室、集まれ!「わたしの漢字」展を含む) ③「白川静漢字教育賞」の開催 ④県内外における白川文字学を活用した出前講座の実施												
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	白川文字学に関する出前講座を児童館や公民館などで実施					他県の状況						

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,505					1,505							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			11,286	9,699	1,742	1,506	1,505	事務費の減					
2月現計予算額の推移			11,386	6,902	931	1,606							
決算額の推移			9,927	5,874	672								
前年度までの 主な増減理由	<p>H30 教材開発やこども向け漢字教室を新規で実施したことによる増額</p> <p>R1 漢字指導者養成のための講座など終了、副読本の配布を取りやめ副読本のデータ等を収録した記憶媒体を配布したことによる減額</p> <p>R2 県民会議協議事業の見直しにより、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供することに、また、書写指導員派遣事業は他事業として実施したことによる減額</p> <p>R3 こども漢字教室の回数削減による減額</p>												
[成果指標等の推移]													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「白川静漢字教育賞」応募 集数	(目標) 実績	(10,000) 12,476	(10,000) 10,369	(500) 580	(500) 386	(500)	(500)	(500)	令和2年度は漢字学習講座等への参加者数年間500人を目指したが、令和3年度からは「白川静漢字教育賞」応募者数500人を目指す。			
活動指標	漢字学習講座等の充足率	(目標) 実績	(10,000) 12,974	(10,000) 3,061	(12) 11	(100)	(100)	(100)	(100)			令和2年度は漢字学習講座等の開催数年間12回開催を目指したが、令和3年度からは漢字学習講座等の定員に対する充足率100%を目指す。	
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和2年度は「白川静漢字教育賞」中止 ・白川文字学ゼミ 3回実施 ・白川文字学こども漢字教室 8回実施 ・県内外における出前講座 19回実施 ・集まれ！「わたしの漢字」展展示 3回実施					各種講座は、子どもから大人まで幅広い層を対象しており、開催時のコロナ感染の状況を踏まえて、講師とも相談しながら、オンラインあるいは動画配信による実施も検討する。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									□ 継続	□ 休止	□ 完了	1	
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルスや常設展示の更新が行われていない等の要因から年間入館者数が過去3年間減少傾向にある。						[問題・課題を表す客観的データ] 過去3か年の来館者数推移 H30年度 40,275人 R元年度 31,197人 R2年度 19,841人						
[事業目的] 小中学生などの来館者がタブレット端末を活用して本県の歴史や文化などを楽しみながら展示観覧できるシステムを構築することにより、こども歴史文化館の魅力向上を図る。												
[事業内容] タブレット端末を活用し展示観覧できるシステムを整備 ・来館者が本県の歴史や文化などを楽しみながら学習できるシステムを構築 ・Wi-fiアクセスポイント 6箇所設置(1F:1箇所、2F:4箇所、3F:1箇所) ・貸出用タブレット端末 10台整備												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町教育委員会に対し、小中学校の校外学習や遠足などによる団体利用を働き掛け					他県の状況	ふるさと学習を目的に、子どもたちを主なターゲットとし、人物をテーマとした教育機関は全国にほとんど例がない。 (盛岡市(岩手県)、金沢市(石川県)、鹿児島市(鹿児島県)の3県のみ)					

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率	-											1 年			1 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	5,206				5,206										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						5,206									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	利用者数(人) (目標) 実績					(40,000)	(55,000)	(70,000)	(中間目標) H29~R1の平均 (最終目標) 中間目標から展示閲覧システムの稼働による校外学習の来館者数および企画展の来場者数の増加を見込む						
活動指標	団体利用した小中学校数 (回数) 実績					(50)	(65)	(80)				(中間目標) H29~R1の平均 (最終目標) 現在の1.6倍の利用			
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					